

## Internet Explorer 9.0 設定手順書

### <本書の目的>

2014年4月より、三重県公共事業電子調達システムは新システムへ移行しました。

システムの移行に伴い、電子入札に利用するパソコンの設定変更作業が必要になります。

本書は、初めて設定する端末向けの設定手順書となります。

### <設定する箇所>

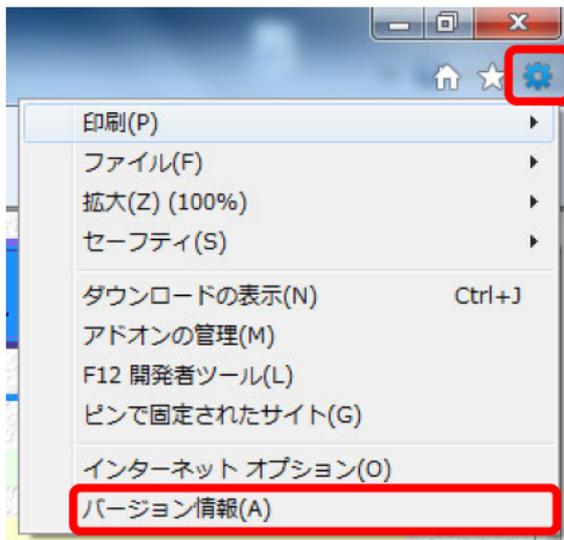
[【P12】 2-2.<セキュリティ>タブの設定\(信頼済みサイトの登録\)](#)

[【P17】 2-4.<プライバシー>タブの設定\(ポップアップブロックの設定\)](#)

[【P20】 3. 互換表示の設定](#)

★事前にご確認をお願いします。

Internet Explorerを起動し、右上のツールボタン  をクリックし、【バージョン情報】をクリックします。



バージョンの部分に64bit表記無→IE9/32bit版  
電子入札システムをご利用頂けるIE9です。



バージョンの部分に64-bit Edition表記有→IE9/64bit版  
電子入札システムを**ご利用頂けないIE9**です。



★ご注意

Windows7 64bit版をご利用の場合、【スタート】→【すべてのプログラム】において、下図のようにInternet Explorerの項目が2つ出てきます。

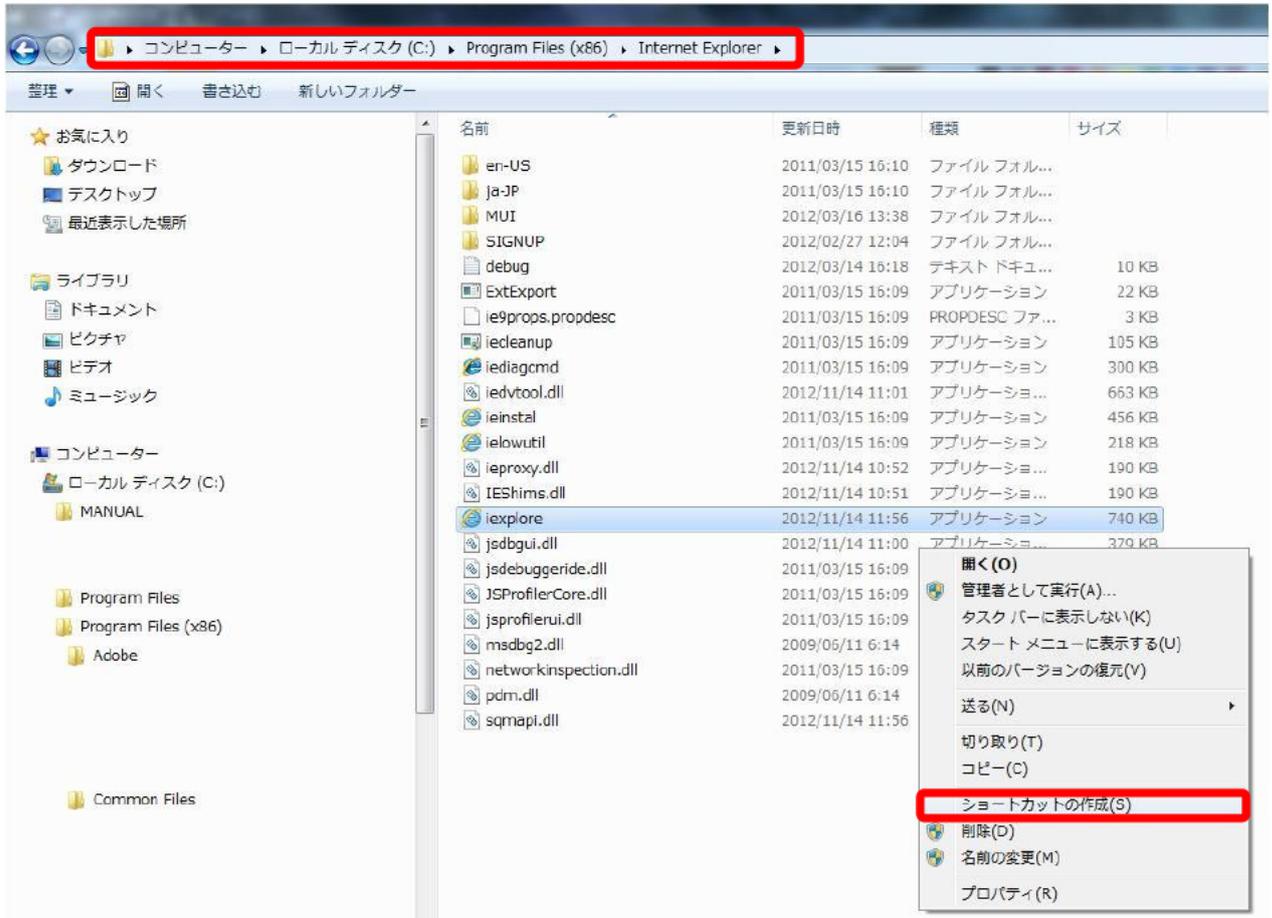


Internet Explorer (64ビット) は電子入札システムではご利用頂けません。  
Internet Explorer は表記はありませんが32bit版のことです。電子入札でご利用頂  
くInternet Explorerです。

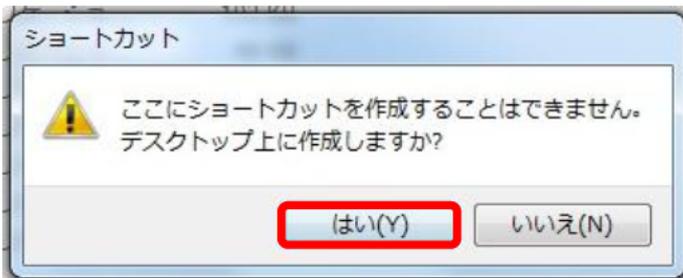
★Windows7/64bit版におけるInternetExplorer9(32bit版)のショートカット作成

1) スタート→コンピューター→ローカルドライブ(C:)→Program Files(X86)→Internet Explorerフォルダを開きます。

2)「iexplore.exe」アイコンの上で右クリックをし、「ショートカットの作成」を左クリックします。



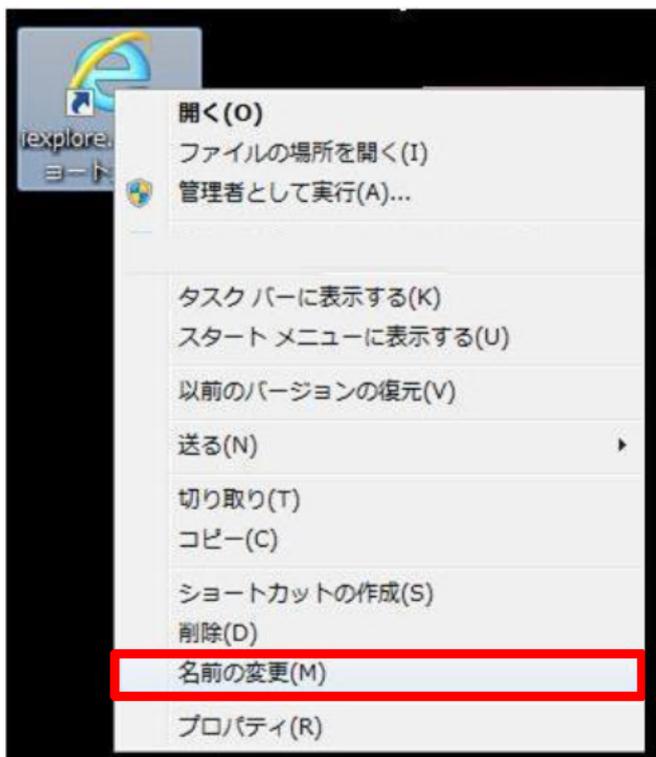
3) ショートカットの作成の警告画面が表示されたら「はい」をクリックします。



4) デスクトップ上に「iexplore - ショートカット」(設定によっては iexplore.exe - ショートカット) が作成されます。



5) アイコンの上で右クリックをし「名前の変更」を選択します。



6) 「IE9-32bit」と入力をして「enter」→IE9-32bitのショートカットができます。

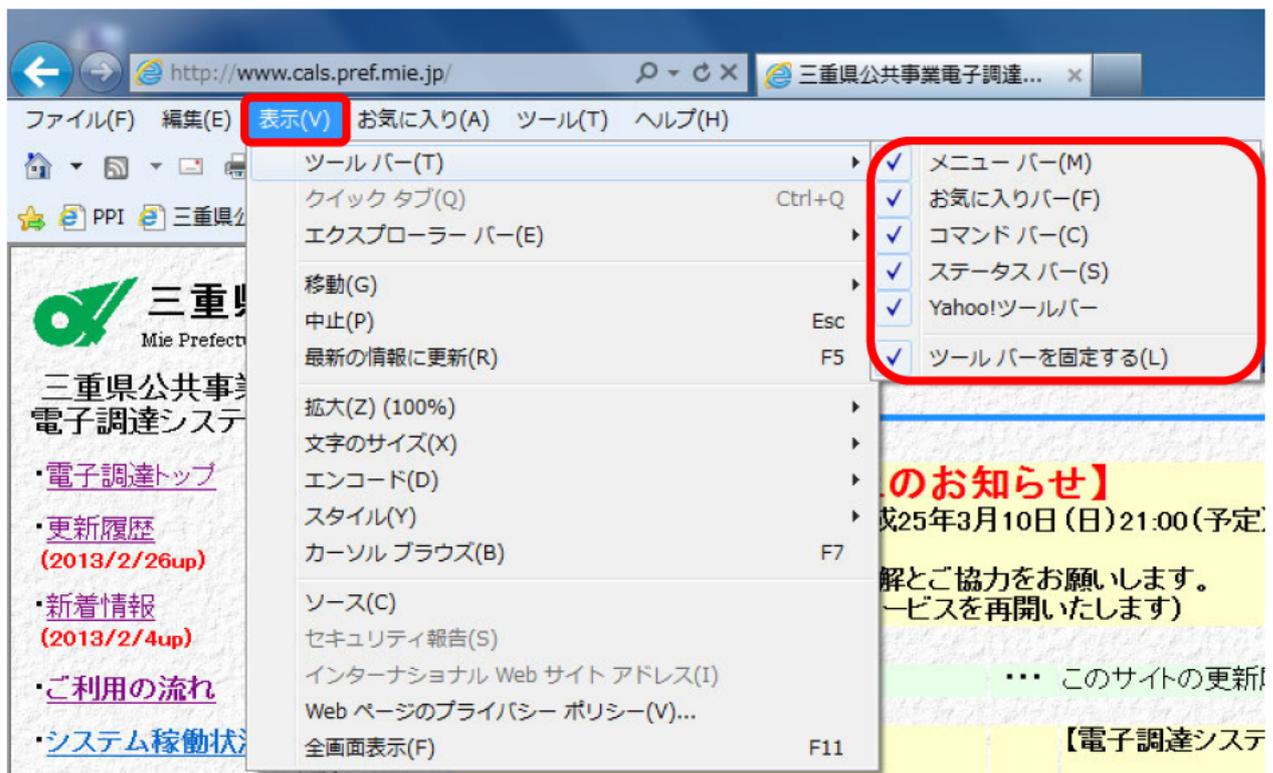


## 1. ツールバー非表示

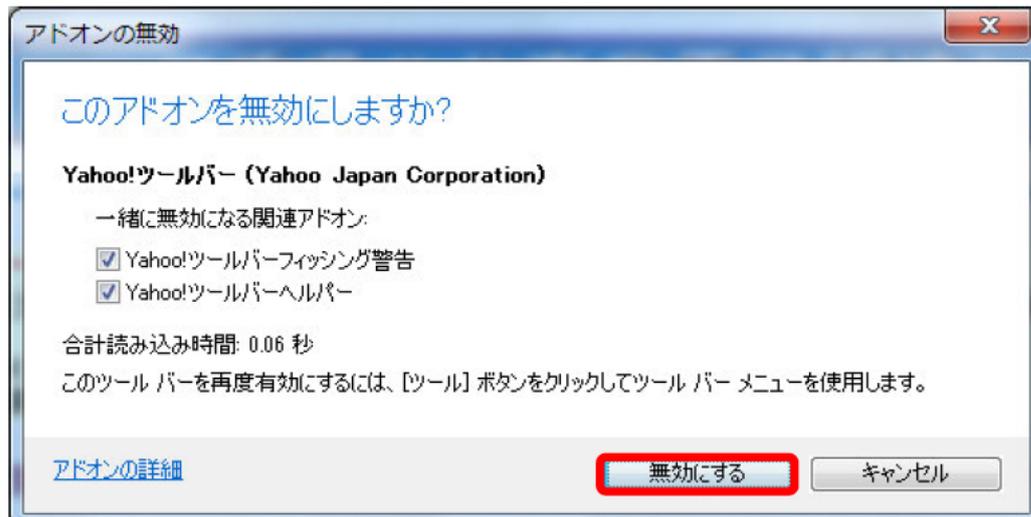
① Internet Explorerを起動し、【表示】-【ツールバー】を選択するとインストールされているツールバーが表示されます。「メニューバー」・「お気に入りバー」・「コマンドバー」・「ステータスバー」・「ツールバーを固定する」以外のチェックが外れていることを確認します。

※「メニューバー」が表示されていない場合はキーボードの「ALT」キーを押下します。

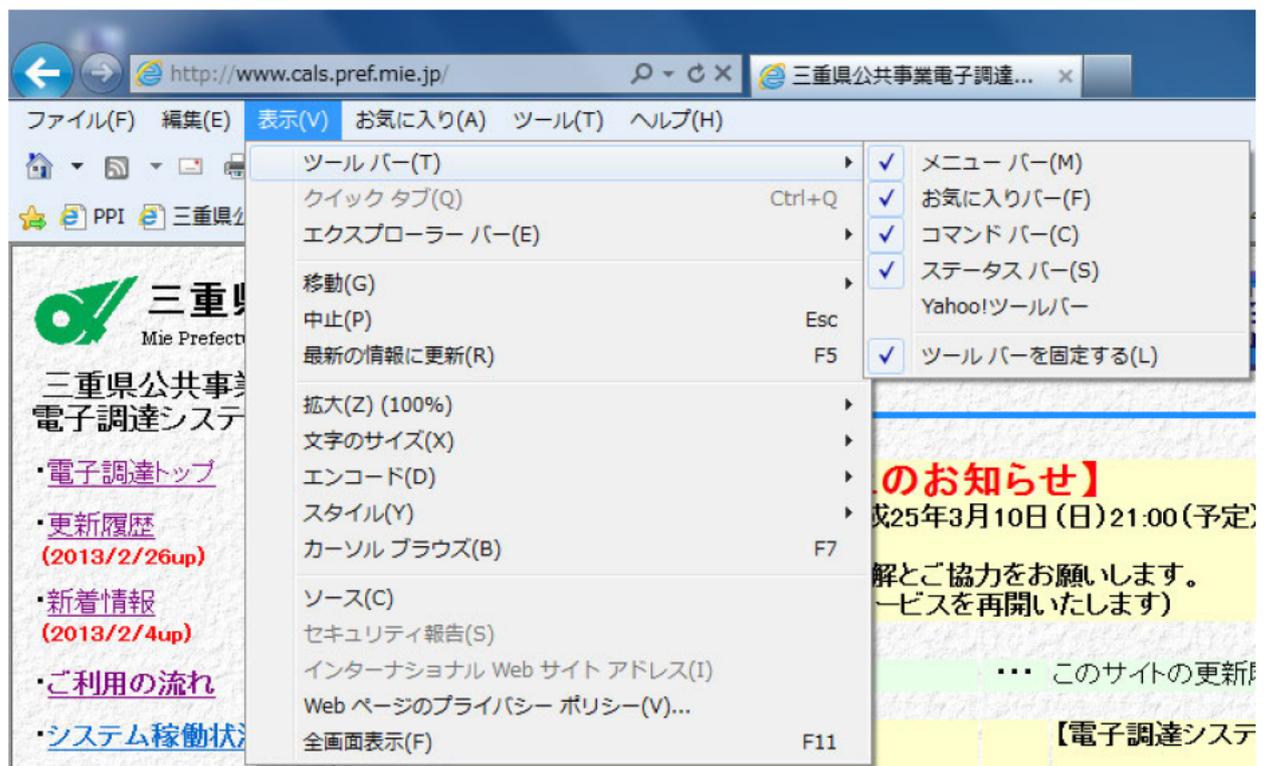
下の画像では「Yahoo!ツールバー」がインストールされています。「Yahoo!ツールバー」の文字上で左クリックしチェックを外します。



下記画面にて【無効にする】を左クリックします。



再度、【表示】-【ツールバー】を選択するとチェックが外れているのが確認できます。



《主なツールバー》

- Googleツールバー
- Yahoo!ツールバー
- MSNツールバー
- Adobe PDF
- Windows LiveTool Bar
- BIGLOBEツールバー
- gooスティック
- JWord
- EPSON Web-To-Page
- Canon Easy-WebPrint 等

《セキュリティソフト関連のツールバー》

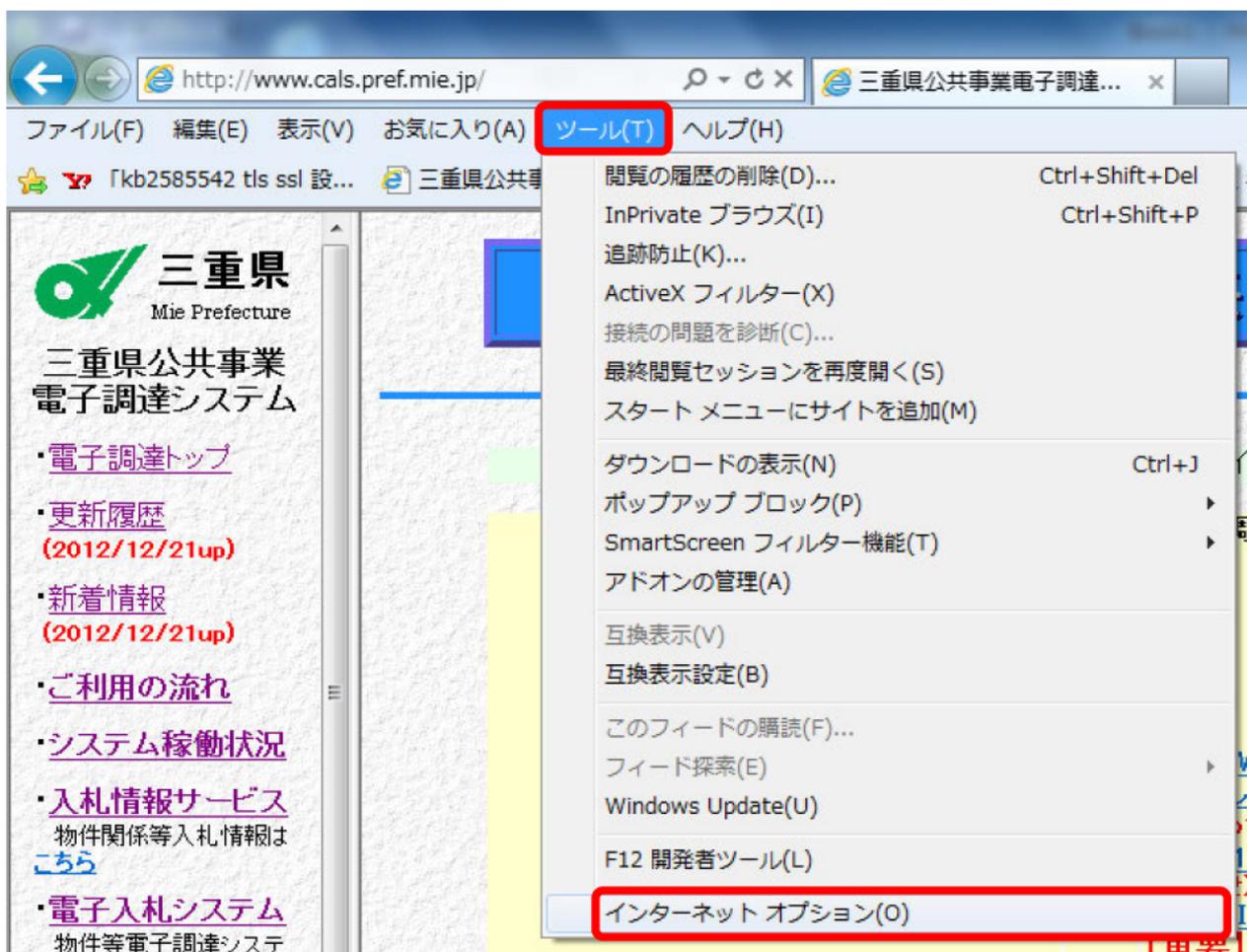
- Norton Anivirus
- Norton internet Security
- Trendツールバー
- McAfee SiteAdvisor  
(McAfee security center)
- McAfee VirusScan 等

## 2. インターネットオプションの設定

以下に説明するいずれかの方法により「インターネットオプション」を開きます。なお、②または③の方法で開いた場合、ウィンドウ名が「インターネットのプロパティ」となりますが、「インターネットオプション」と同じものです。

### <インターネットオプションの開き方①>

Internet Explorerを起動し、【ツール】-【インターネットオプション】を選択し左クリックします。



または、



## <インターネットオプションの開き方②>

コントロールパネルの【インターネットオプション】をダブルクリック(マウス左ボタン)するか、右クリックし【開く】を選択し左クリックします。

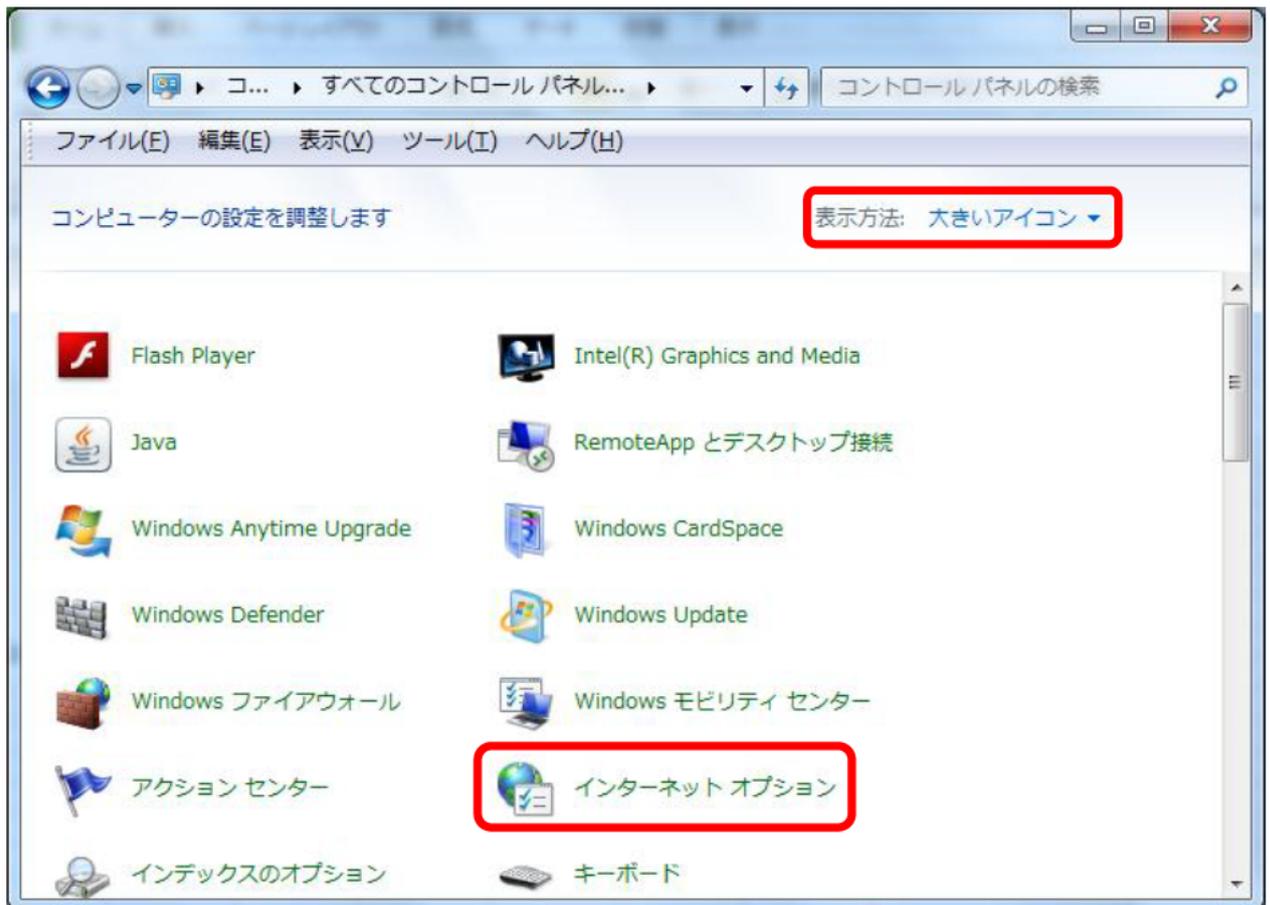


### ★ご注意

コントロールパネルを開いた際、下図画面の場合は、右上の「表示方法 カテゴリ」を【大きいアイコン】に変えて下さい。

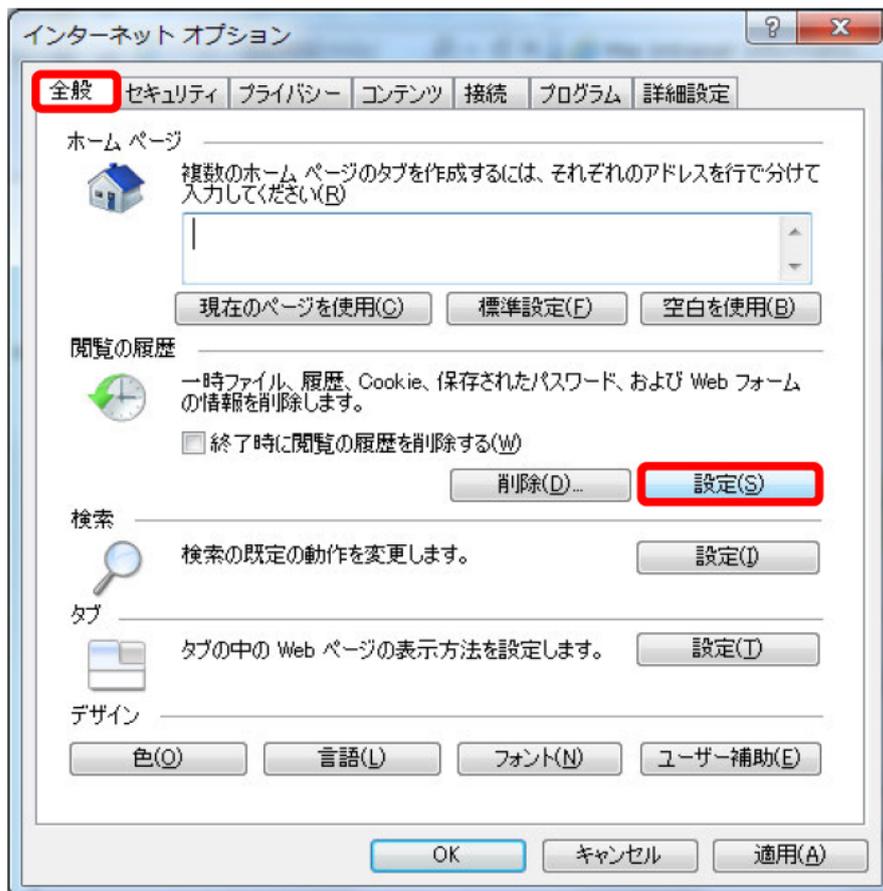


【大きいアイコン】に変えると、【インターネットオプション】が表示されます。

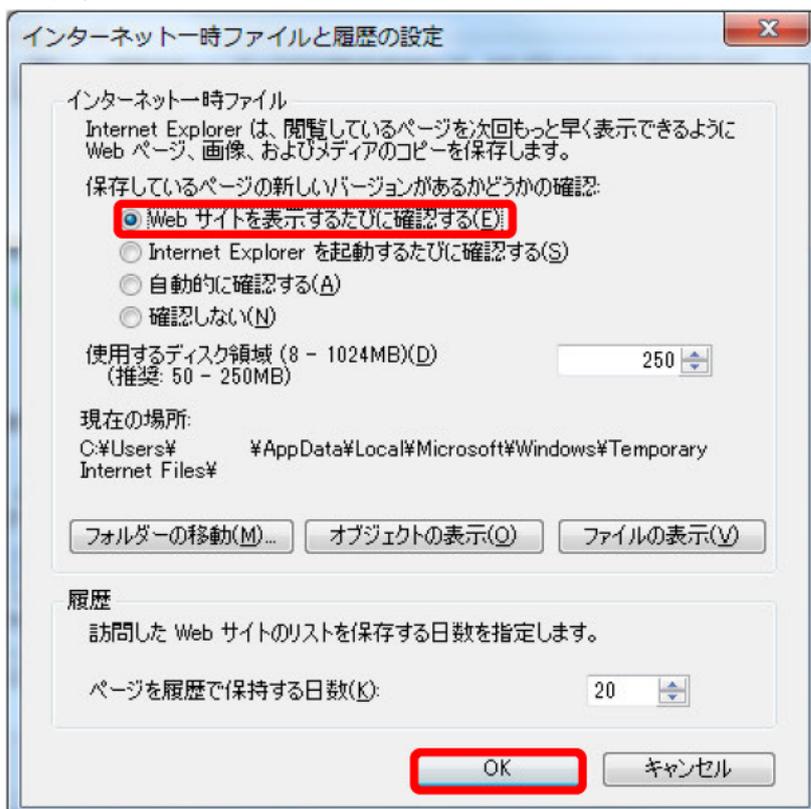


## 2-1.<全般>タブの設定(インターネット一時ファイルの設定)

①「閲覧の履歴」内の【設定】ボタンを左クリックします。

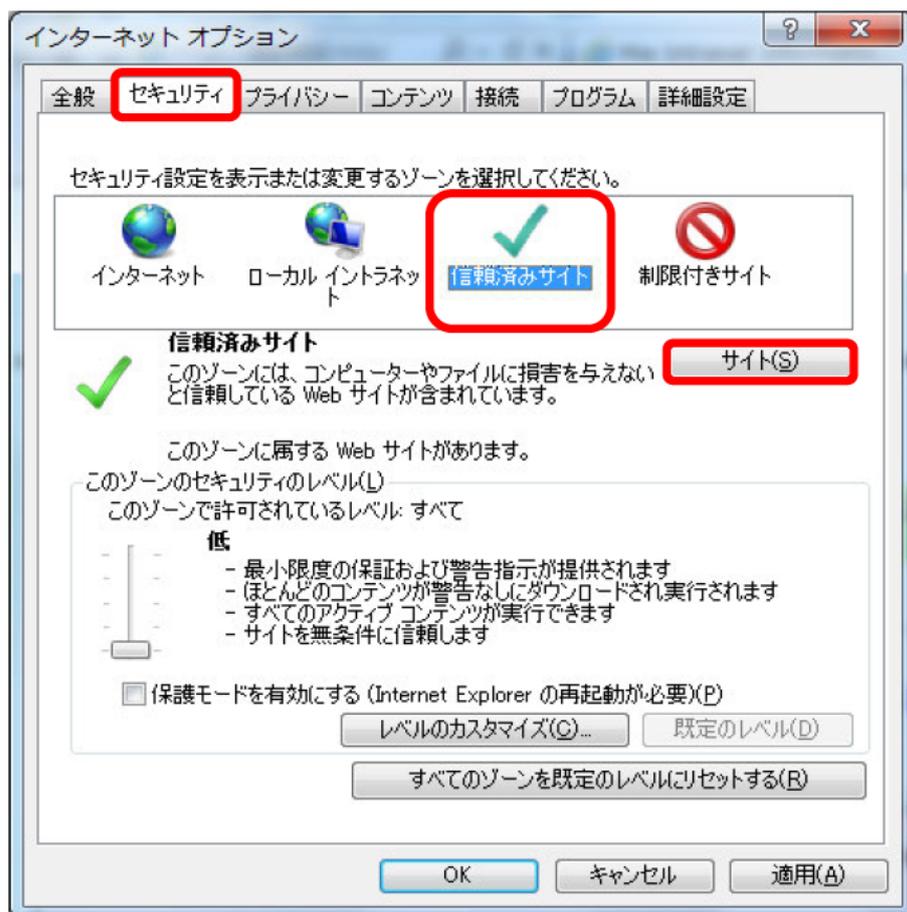


②【Webサイトを表示するたびに確認する】をチェックし【OK】ボタンを左クリックします。

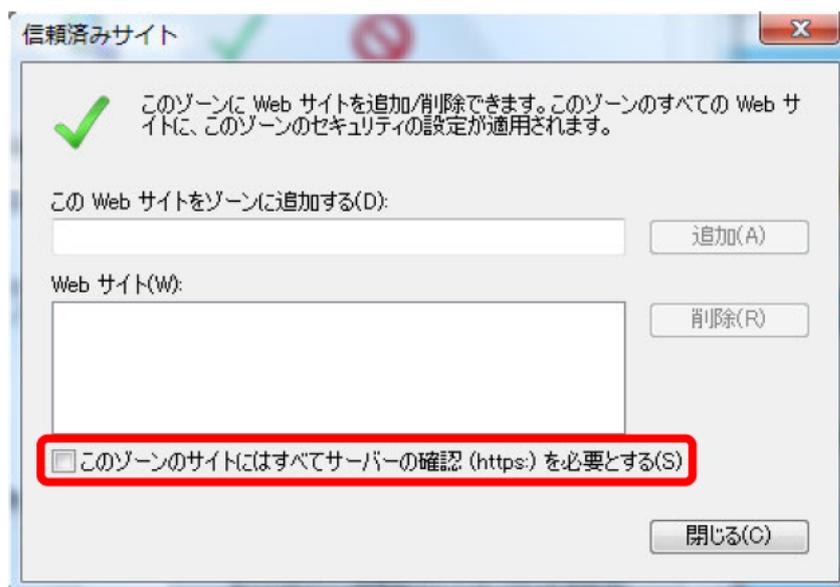


## 2-2.<セキュリティ>タブの設定(信頼済みサイトの登録)

①【信頼済みサイト】を選択し【サイト】ボタンを左クリックします。



②【このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要とする】のチェックを外します。



③【このWebサイトをゾーンに追加する】に下記のアドレスを入力し【追加】ボタンを左クリックします。Webサイトの追加は1つずつ行います。

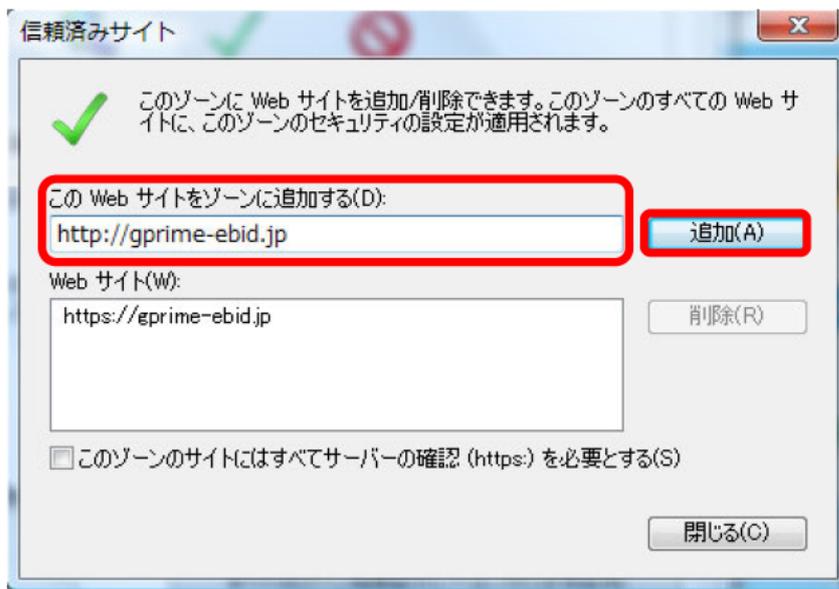
手入力だと間違いやすいので、下記アドレスをコピーして、該当場所に貼り付けて下さい。

<信頼済みサイト>

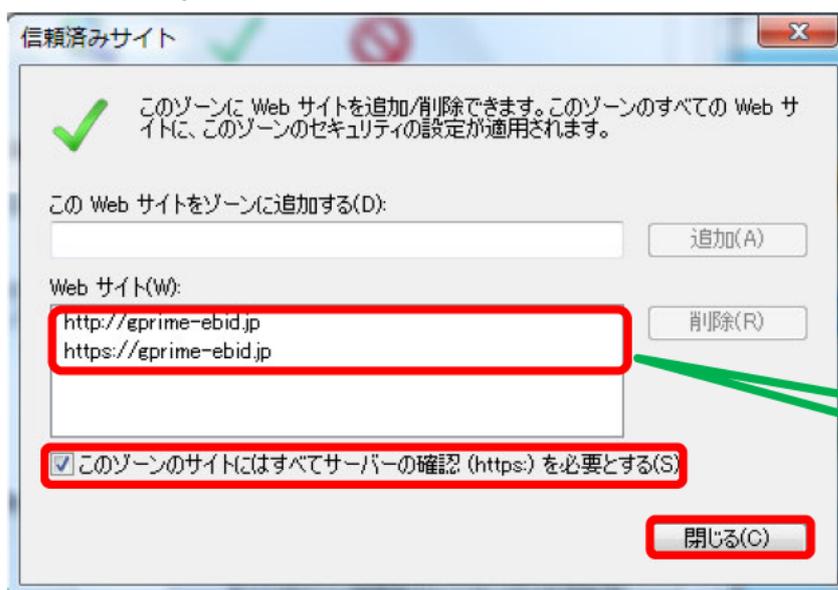
http://gprime-ebid.jp  
https://gprime-ebid.jp



設定追加する必要があります。



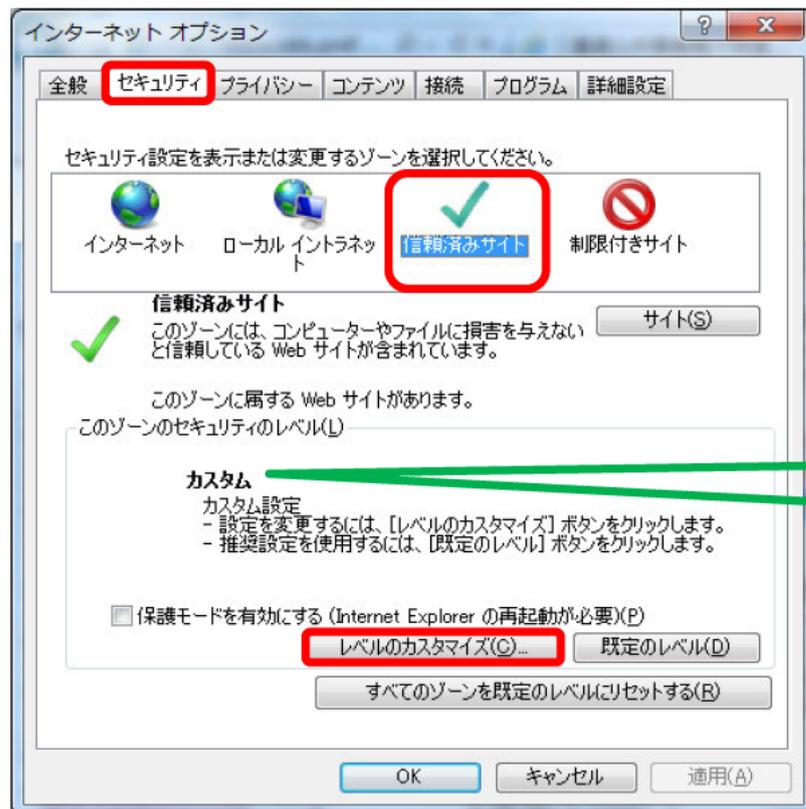
④上記2つのWebサイトを追加した後、【このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要とする】をチェックし【閉じる】ボタンを左クリックします。



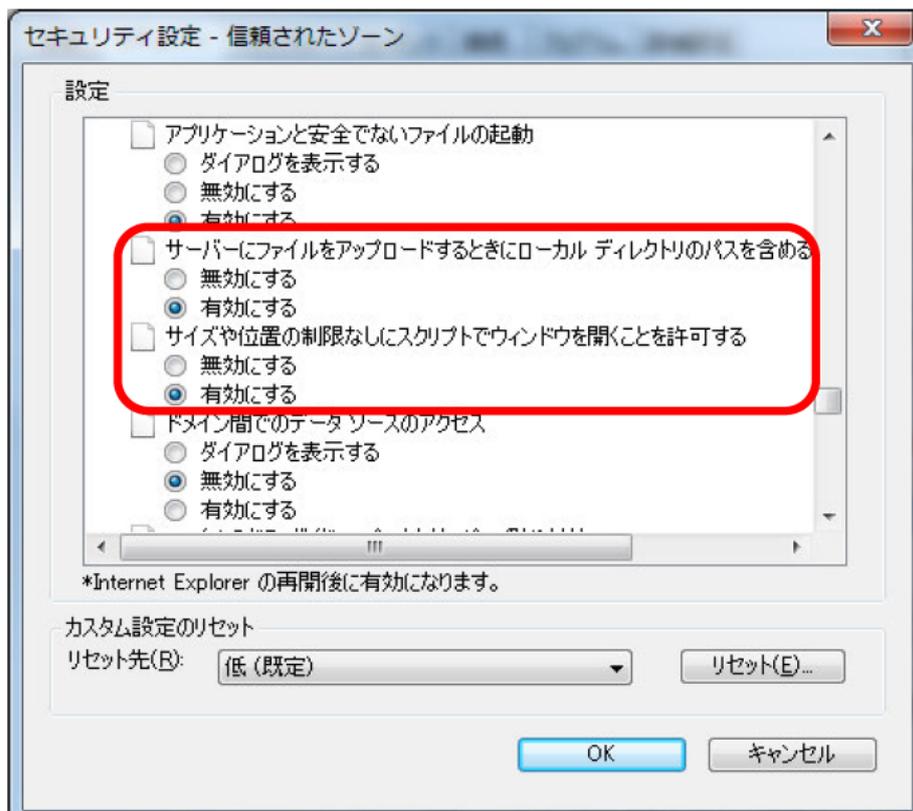
追加したアドレスに「\*」が付いて

## 2-3.<セキュリティ>タブの設定(レベルのカスタマイズ)

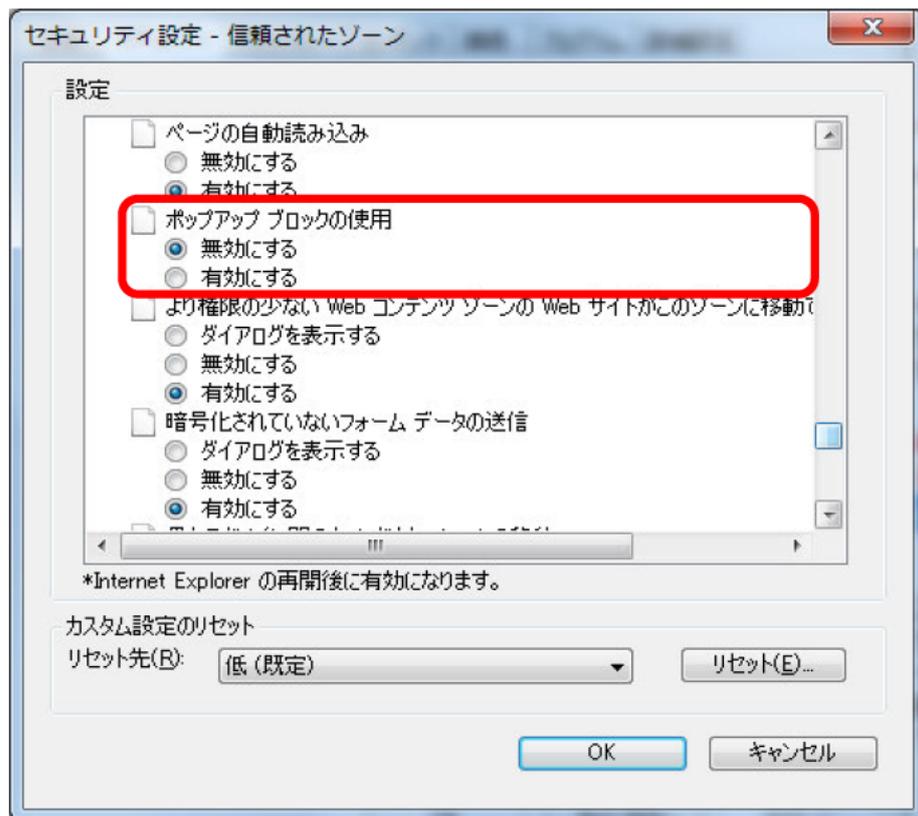
①【信頼済みサイト】を選択し【レベルのカスタマイズ】ボタンを左クリックします。



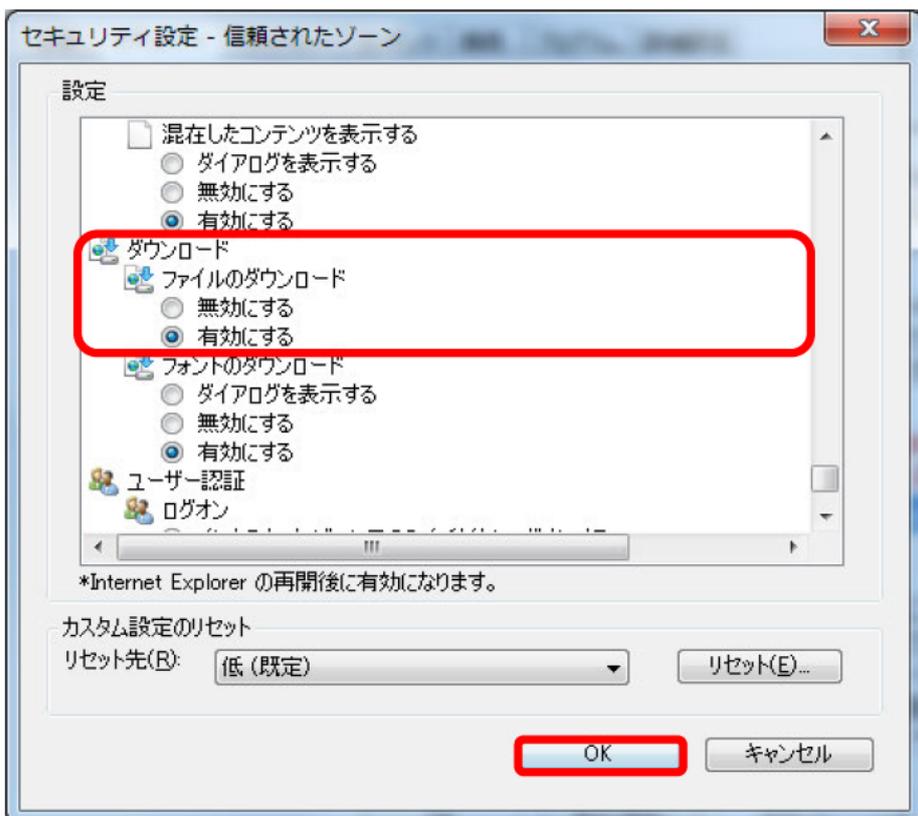
③【サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める】と【サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する】を【有効にする】にチェックします。



④【ポップアップブロックの使用】を【無効にする】にチェックします。



⑤【ファイルのダウンロード】を【有効にする】にチェックし、【OK】を左クリックします。

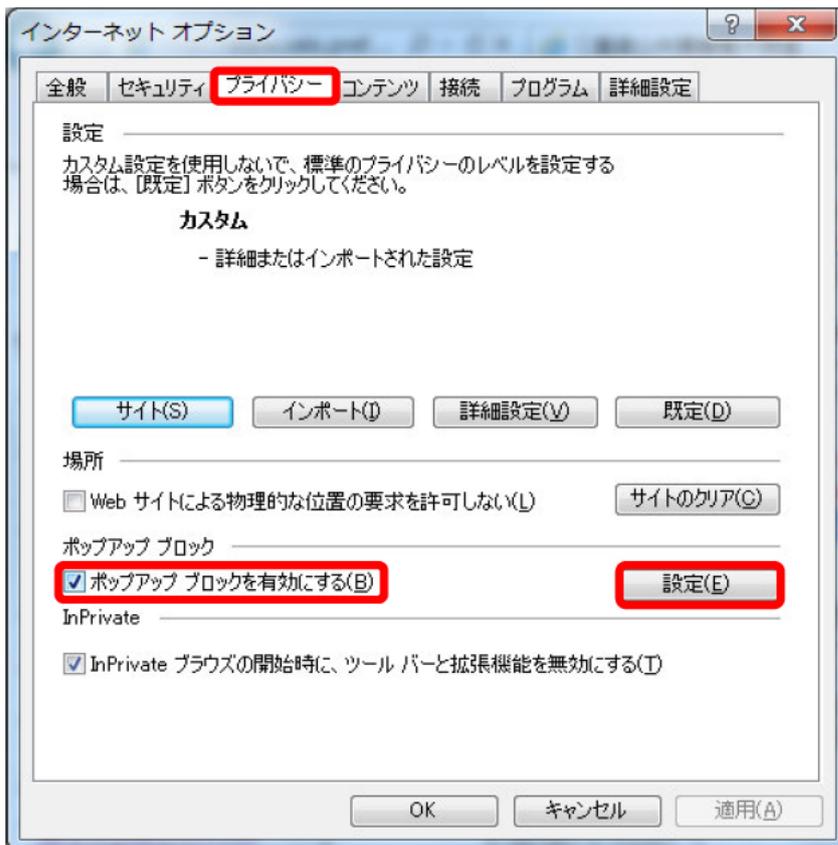


⑥【はい】を左クリックします。



## 2-4.<プライバシー>タブの設定(ポップアップブロックの設定)

①【ポップアップブロックを有効にする】をチェックし【設定】ボタンを左クリックします。



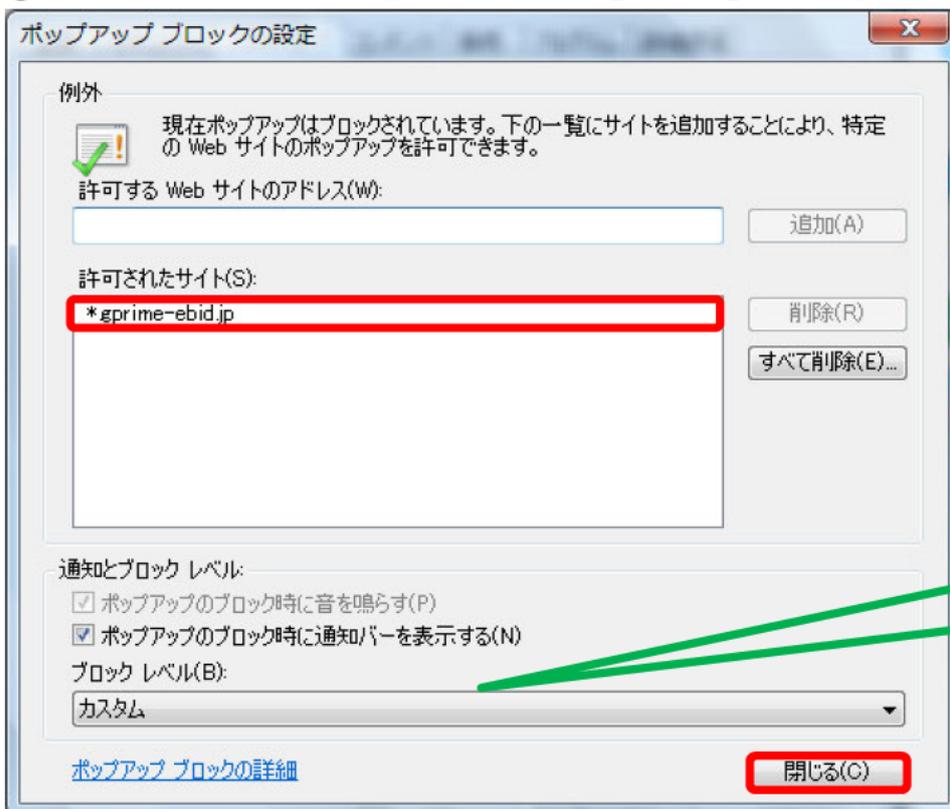
②「許可するWebサイトのアドレス」に下記のアドレスを入力し【追加】ボタンを左クリックします。Webサイトの追加は1つずつ行います。

手入力だと間違いやすいので、下記アドレスをコピーして、該当場所に貼り付けて下さい。

<ポップアップを許可するアドレス>

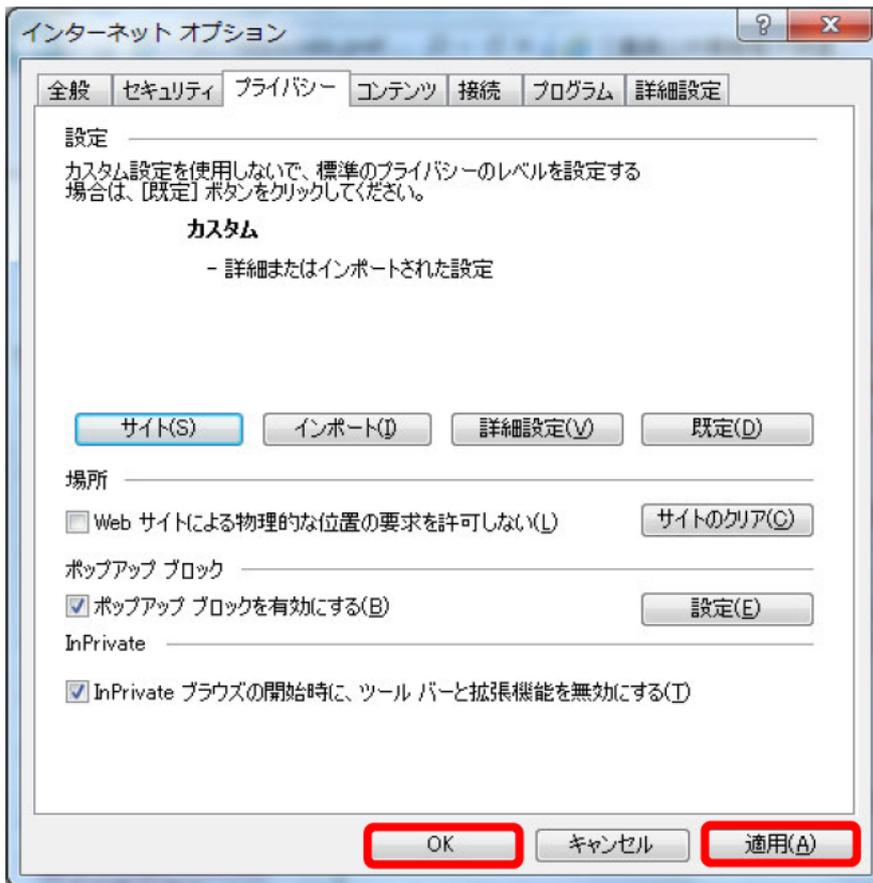


③上記1つのWebサイトを追加した後、【閉じる】ボタンを左クリックします。



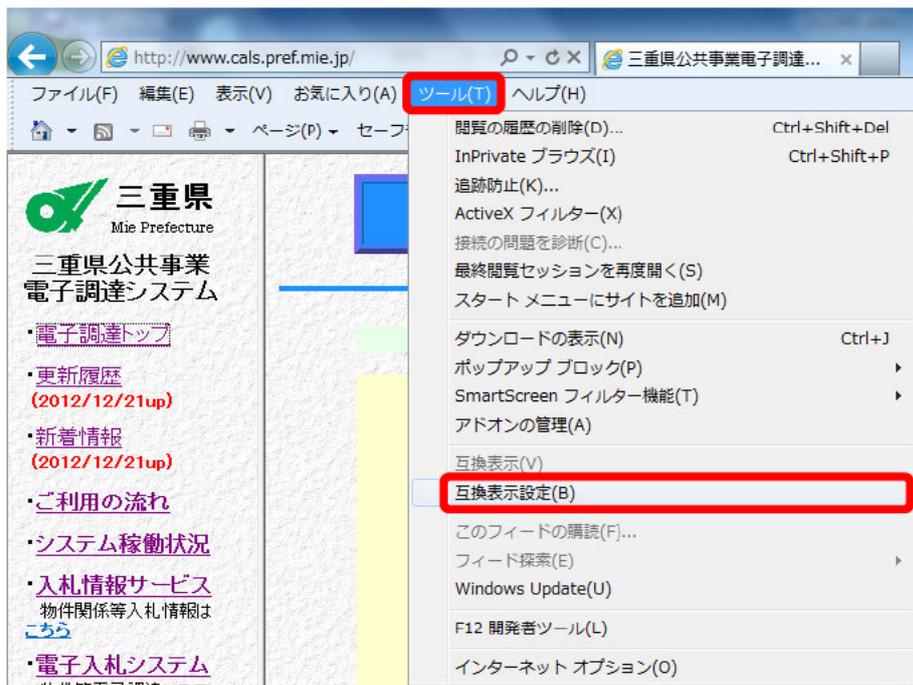
こちらの表記はOSによって異なりますので、既定のままです

④ここまでの設定が全て完了後、【適用】→【OK】を左クリックしインターネットオプションを閉じます。Internet Explorerを一度終了し、再度Internet Explorerを起動し動作確認を行います。



### 3. 互換表示の設定

①Internet Explorerを起動し「三重県公共事業電子調達システム」(http://www.cals.pref.mie.jp/)を開き、【ツール】-【互換表示設定】を左クリックします。



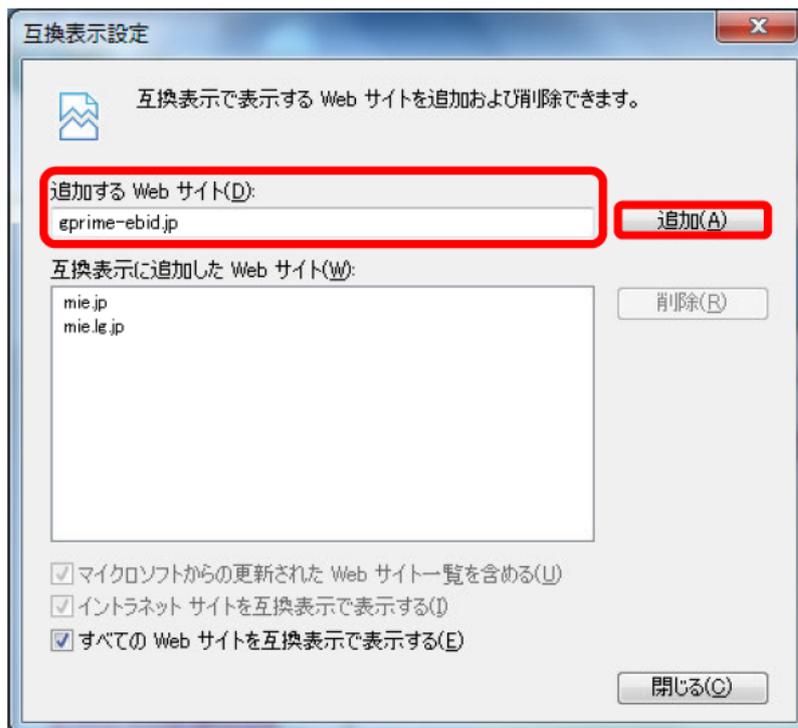
②「追加するWebサイト」に下記のアドレスを入力し【追加】ボタンを左クリックします。Webサイトの追加は1つずつ行います。

手入力だと間違いやすいので、下記アドレスをコピーして、該当場所に貼り付けて下さい。

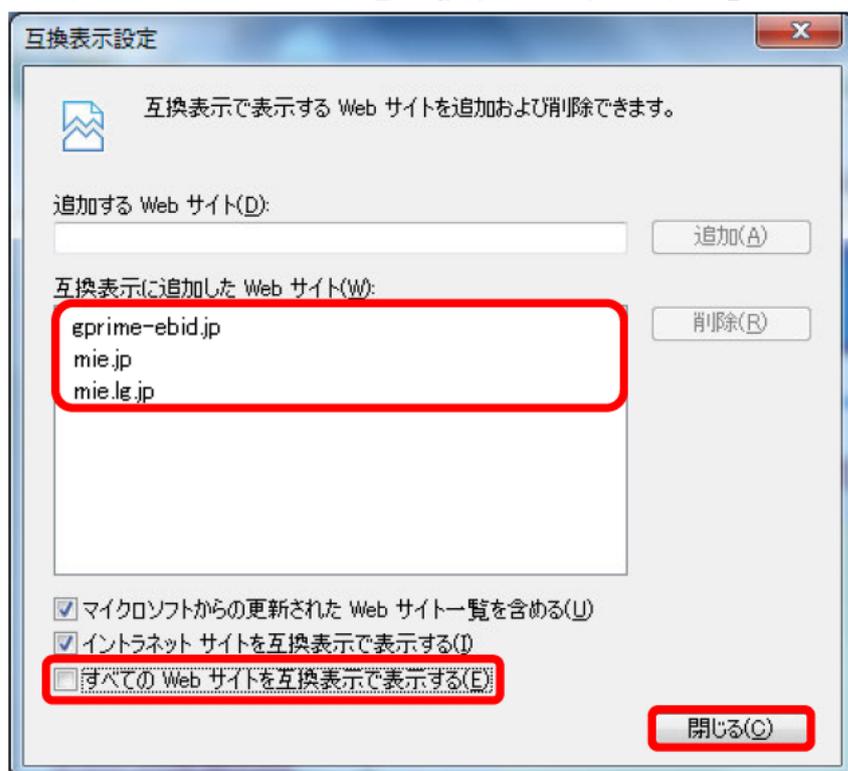
### <互換表示に追加するアドレス>

mie.jp  
mie.lg.jp  
gprime-ebid.jp

設定追加する必要があります。



- ③上記3つのWebサイトを追加した後、【閉じる】ボタンを左クリックします。  
※「すべてのWebサイトを互換表示で表示する」にチェックがある場合は外します。



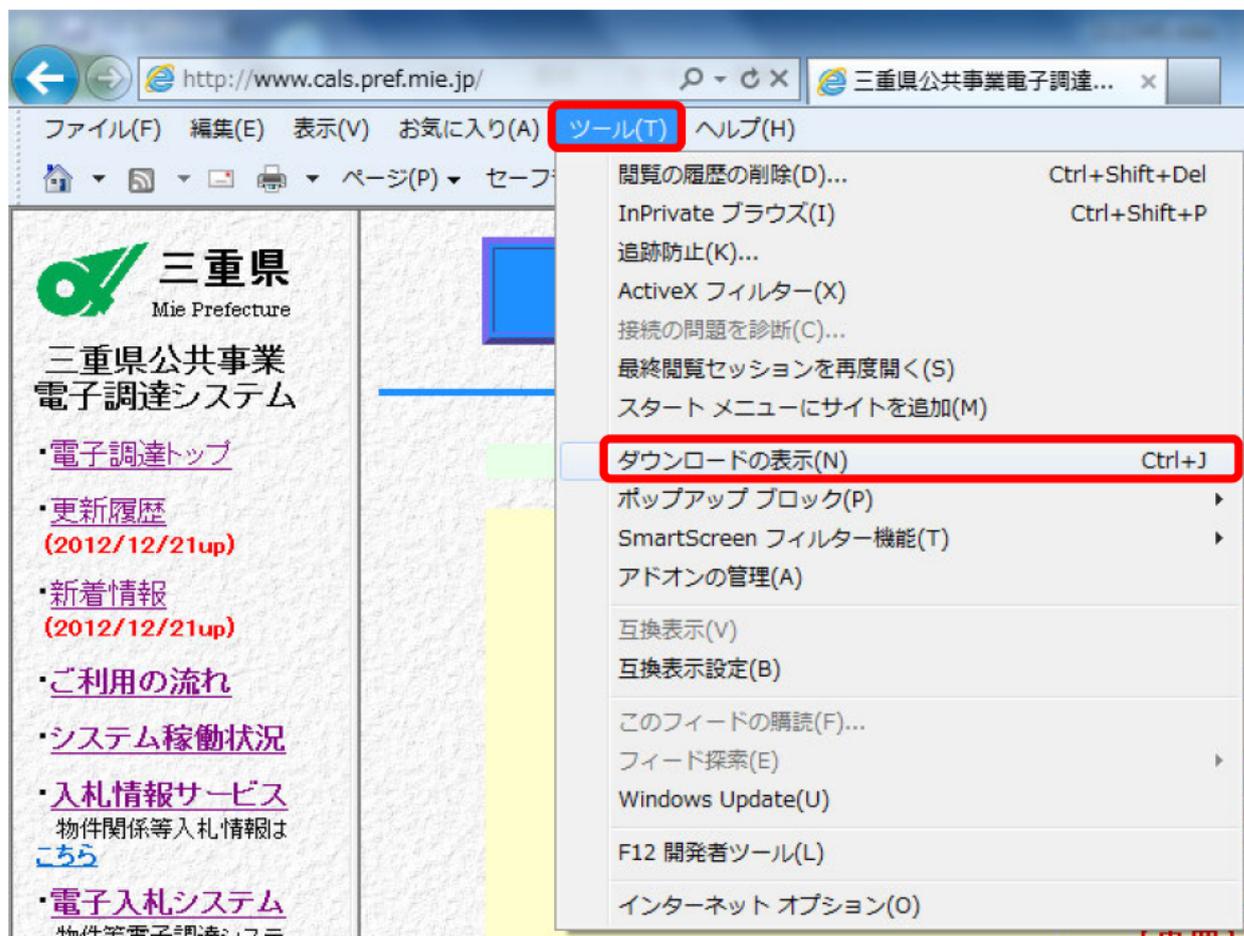
- ④Internet Explorerを一度終了し、再度Internet Explorerを起動し動作確認を行います。

IE9からの機能により操作が変わってくる部分を表記します。

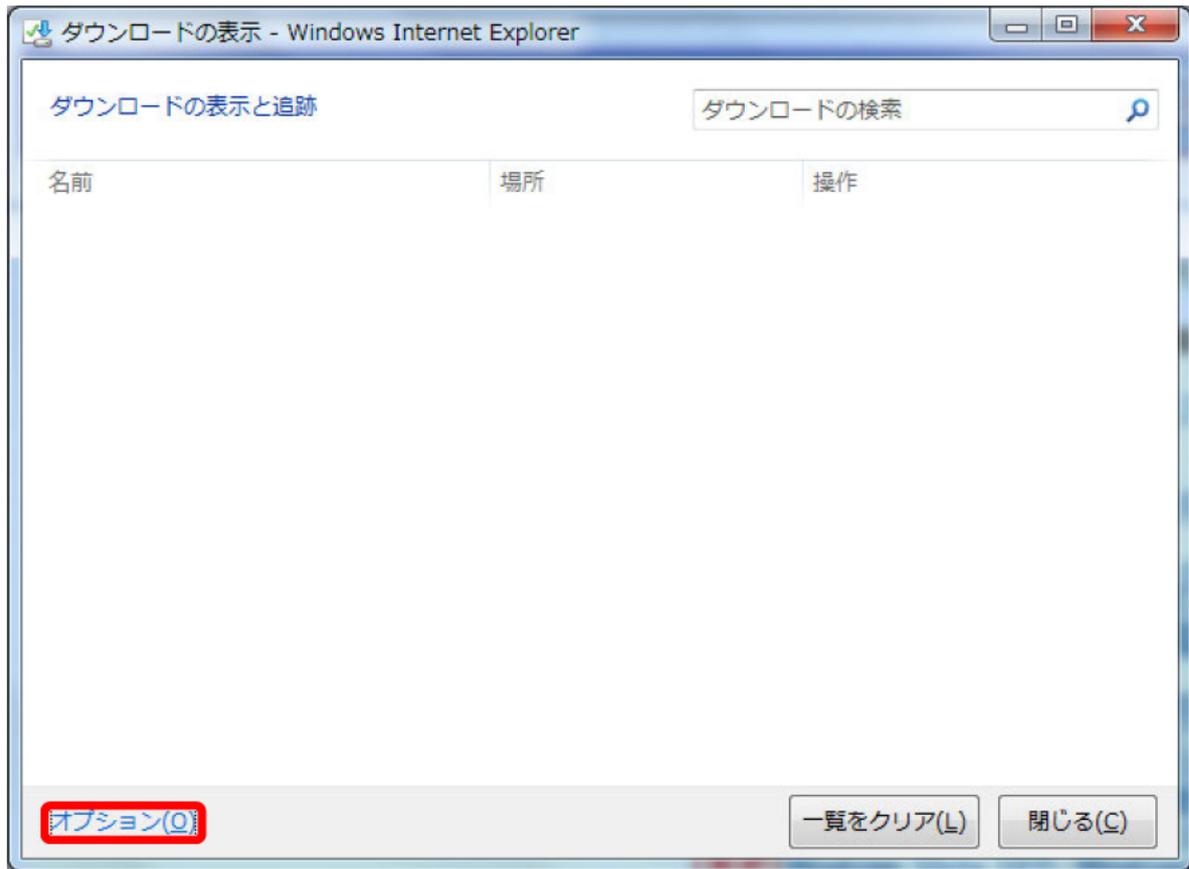
IE9では、ダウンロードされたファイルは所定の場所にダウンロードされる仕様になっています。

ダウンロード時に保存先を選択するか、ダウンロードファイルの保存先を変更するには事前の設定が必要になります。

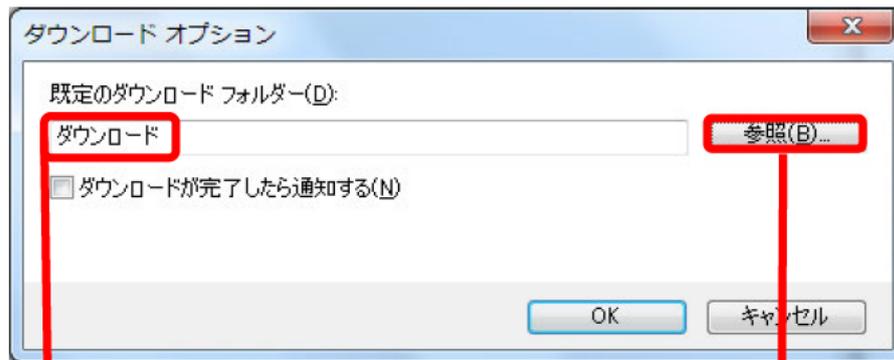
①【ツール】→【ダウンロードの表示】を左クリックします。



②「ダウンロードの表示」画面が開きますので、【オプション】を左クリックします。

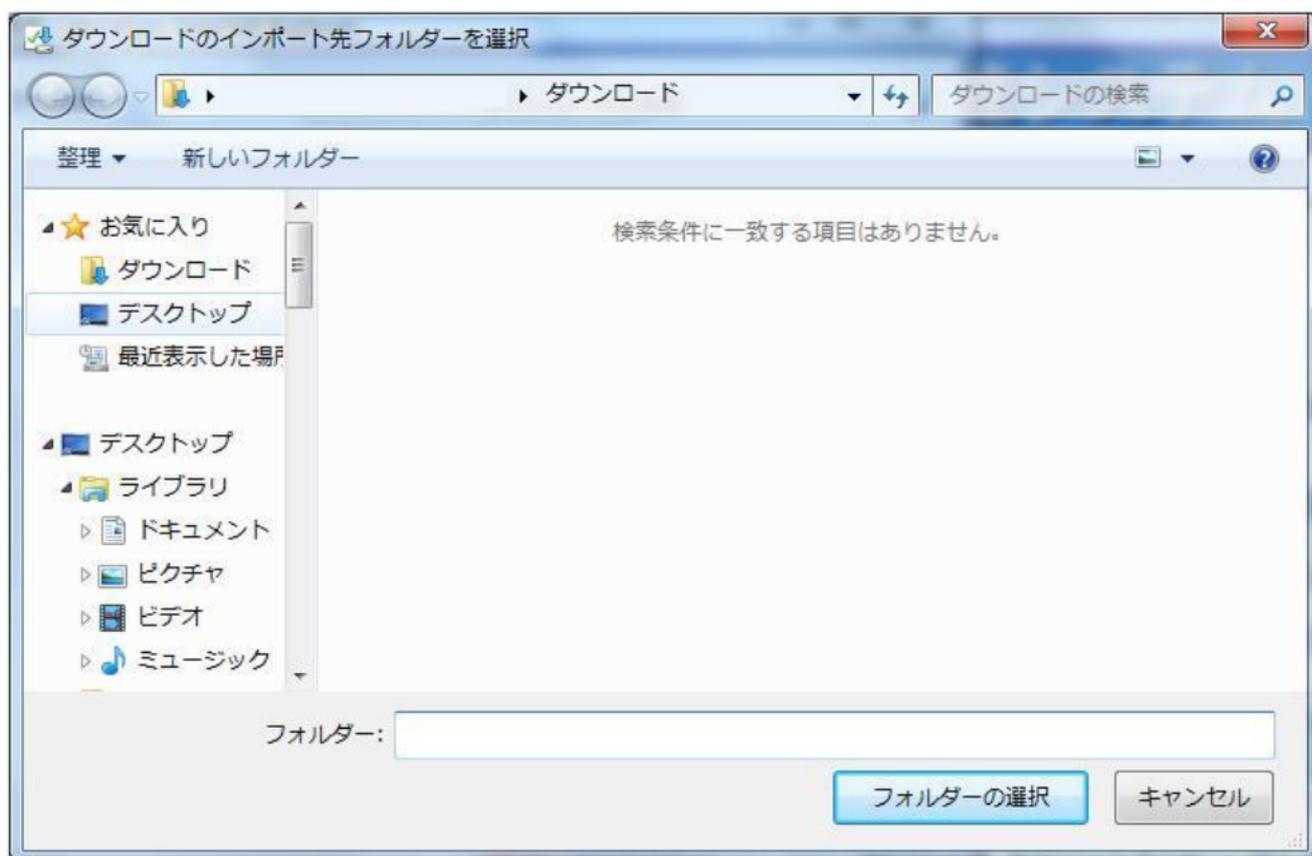


③「ダウンロードオプション」の画面が開きます。



現在設定されている保存先

選択して保存先が変更可能になります



入札情報サービスにて公告から添付ファイルをダウンロードする場合【ダウンロード】をクリックすると下図のような画面が出てきます。

添付ファイルその6	<a href="#">【お知らせ】配置技術者等に係る契約時の提出書類 (PDF 8 KB)</a>
添付ファイルその7	<a href="#">〈別記様式〉契約時における主任技術者又は監理技術者のチェックリスト (DOC 36 KB)</a>
添付ファイルその8	<a href="#">H25.6.1から『お知らせ』三重県発注の建設工事の入札に参加される皆様へ (DOC 28 KB)</a>
添付ファイルその9	<a href="#">H25.6.1公共工事に係る最低制限価格の運用について (PDF 184 KB)</a>
添付ファイルその10	<a href="#">紙資料提出通知書 (DOC 16 KB)</a>
添付ファイルその11	<a href="#">質問書様式 (DOC 30 KB)</a>
添付ファイルその12	<a href="#">工事費内訳書(閲覧用) (PDF 98 KB)</a>
添付ファイルその13	<a href="#">工事費内訳書(見積用) (XLS 215 KB)</a>
添付ファイルその14	<a href="#">特記仕様書 (PDF 1151 KB)</a>
添付ファイルその15	<a href="#">数量計算書 (PDF 1402 KB)</a>
添付ファイルその16	<a href="#">図面 (PDF 981 KB)</a>
添付ファイルその17	<a href="#">位置図 (PDF 180 KB)</a>
添付ファイルその18	<a href="#">積算参考資料 (PDF 15 KB)</a>
添付ファイルその19	

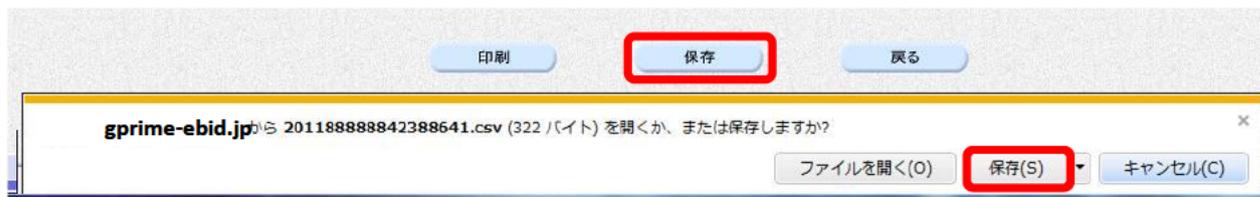
gprime-ebid.jpから 工事費内訳書(見積用).xls (406 KB) を開くか、または保存しますか? ×

そのまま【保存】をクリックすると、あらかじめ設定されたフォルダにダウンロードされます。

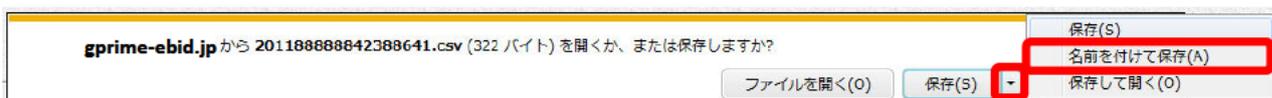
gprime-ebid.jpから 工事費内訳書(見積用).xls (406 KB) を開くか、または保存しますか? ×

【保存】の右、▼をクリックし、【名前を付けて保存】を選択すると、保存先が指定できます。

電子入札システム内、通知書などの【保存】ボタンをクリックすると下図のような画面が出てきます。



そのまま【保存】をクリックすると、あらかじめ設定されたフォルダにダウンロードされます。



【保存】の右、▼をクリックし、【名前を付けて保存】を選択すると、保存先が指定できます。

以上